

育児中の「はたらく」を考える

mamimU

団体概要

ママ・ミライ・ムカウ

～ママ自身の手で、未来の働き方をつくりだす～

時間にも、場所にも、雇用にもとらわれず、
育児中の柔軟な働き方を、たくさんのママが選択できるように。

ママたちの「未来につながる」働き方を、本気で作っていきます。

mamimu が目指すもの

柔軟な働き方への理解が広まり、 どんな人も自分の特性を生かして働ける社会。

子供の成長を見守りながら、やりがいのある仕事を続けるママたちがいる社会。
そんな社会は、パパはもちろん、介護中の人、ハンデを持つ人・・・
どんな人にとっても働きやすい社会のはずです。

子供を育てること、働くこと、どちらも自治体や企業に期待してしまいがちな分野ですが、
任せておくだけで良いのでしょうか。
ママ自身が、自立した考えを持ち、お互いに助け合うことで、
働きやすく育児しやすい社会をつくることができるはずです。

ITが進化しリモートワークが現実化して、クラウドソーシングなどの仕組みも整ってきています。
在宅ワークや副業（複業）の考え方も広まってきました。
ママにとっての新しい働き方を作りましょう。

まずはママ一人一人が、社会に必要とされるプロフェッショナルを目指すこと。
自分の長所を伸ばし、それを仕事にしていける仕組みをつくること。
ゆくゆく「誰もが自分の特性を活かして働ける社会」につなげていきます。

プロチーム

mamimu の基本となるのは、子供を持つプロメンバー



編集・ライター・DTP デザイナー・web デザイナー・翻訳家・写真家・書道家・料理家など、業種は様々。

育児中の「働く」に対する課題や不足しがちなもの

モチベーション

情報

他業種との連携

スキルアップの機会

より高いレベルの仕事

アシスタントの育成

チームで解決!

チームを作って、幅広い仕事に挑戦

プロジェクトごとにチームを作り、個人の特性をフルに活かせるような仕事を行います。メンバーの意見・要望を聞きながら行うことで、スキルアップにもつながります。

例えば、
英語のパンフレット制作を
請けることができるようになる、など

互いに必要なスキルをシェアしてスキルアップ

育児中は家のこと子どものことで学ぶ時間が不足しがち。託児付き講座やオンライン授業などで学習する機会をつくることで、効率よくスキルを身につける場をつくっていきます。

例えば、
DTP デザイナーがweb サイトを
外注するための基礎知識を学ぶ、など

育児、仕事についての情報交換など

フリーランスは横のつながりを作りにくい。ママ友とは「仕事」の話がしにくい。そんな声を解決するために、情報交換ができるような交流の場をつくります。

例えば、
どのように仕事を受注しているか、
会計の方法、など

専門家などから、さらに上級のスキルを学ぶ

今と同じままでは未来につながるとは言えません。常に向上心を忘れず、少しずつでも成長していけるように、専門家から上級スキルを学ぶ機会をつくります。

例えば、
マネジメントやビジネス理論、
経営などの講座

プロチーム活動内容

ワークスペース & ミーティング

そこに行けば、誰かがいる安心感。
それぞれが仕事をしながらも、同じ場に集うことで、
「きっかけ」と「シナジー効果（化学反応的な相乗効果）」を生み出します。

- プロチームメンバーが、自由に仕事をするためのスペース。
- 託児付き時間を設け、子どもを預けて集中して働く時間をつくる。
- 「どうしても調子が出ない」「ちょっとスランプ気味」……
そんなときに流れを変えるきっかけやアイデア探しの場とする。
- 定期的にミーティングを開催。ワークシェアやスキルシェアの
仕組みづくりなどにアイデアを出し合う。
- スキルシェアの場としても活用
- 専門家をお呼びしての上級スキルを身につけるための講座も。

将来的にはオンライン・ワークタイムも。

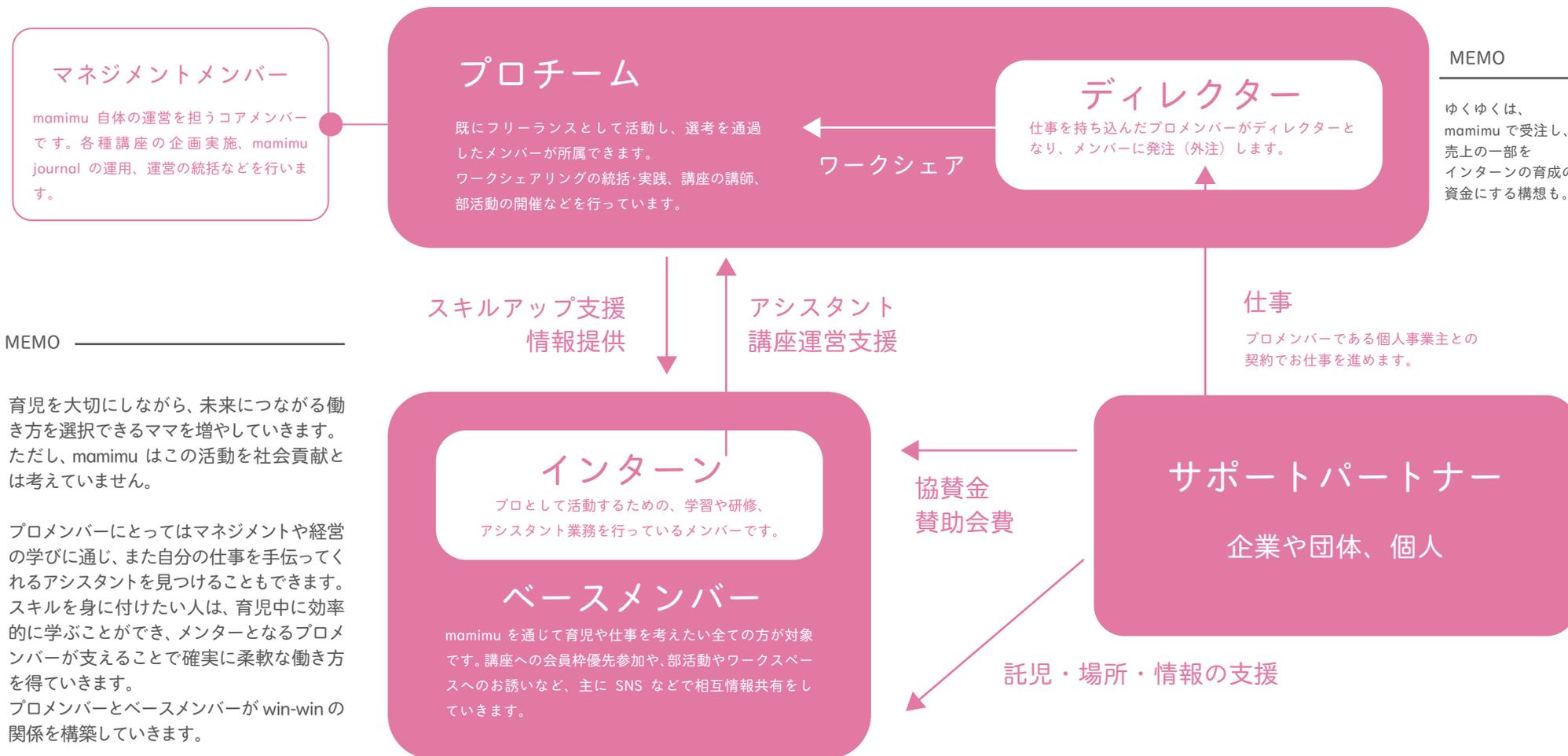
プロチーム活動内容 2

ワークシェアリング・システム

「互助」と「連携」で、ママであることを強みに変える。
ITの力を借りて、ひとりでは受けられない仕事を、チームになって取り組みます。

- 「子どもが急に熱を出して、誰かに手伝ってほしい」「ひとりで受けるには規模が大きい」、そんなフリーランスで働くママの悩みをチームで解決。
- ママだからこそその悩みを支え合い、ママであることを強みに変えていく。
- 事業主体となることが目的ではなく、非営利で活動を行い、協働のためのプラットフォームとする。
- さらに上級フリーランスに必要な「仕事を外注するスキル」「マネジメント」「ディレクション」「ワーキングチームの運営スキル」などを身につけます。

さらに、自分たちが育児中に自分らしい働き方を手にした経験を生かして、ママたちが「働く」「学ぶ」ための機会をつくります。



MEMO

育児を大切にしながら、未来につながる働き方を選択できるママを増やしていきます。ただし、mamimu はこの活動を社会貢献とは考えていません。

プロメンバーにとってはマネジメントや経営の学びに通じ、また自分の仕事を手伝ってくれるアシスタントを見つけることもできます。スキルを身に付けたい人は、育児中に効率的に学ぶことができ、メンターとなるプロメンバーが支えることで確実に柔軟な働き方を得ていきます。プロメンバーとベースメンバーが win-win の関係を構築していきます。

MEMO

ゆくゆくは、mamimu で受注し、売上の一部をインターンの育成の資金にする構想も。

mamimu 活動内容

いくじしごとと大学校

「これからの育児と仕事」を考えるきっかけに。
働くママが知りたいことをテーマに、公開講座を開催します。

※平成 28 年度 杉並区地域貢献事業 助成活動に採択されました



- mamimu の活動を応援してくれる専門家が講師。
- 育児や仕事で、多くの人を知りたいことをテーマにした公開講座。
- 月 1 回、20 ～ 30 人規模で開催。
- 地域の企業・個人事業主・団体からの協賛によって、費用を軽減。
- 誰にでも開かれたスキルシェアの仕組みをつくる。

<平成 28 年度講座テーマ (予定)>
在宅ワーカーとの情報交換「家で働くという選択」
保育や育児についての学習
税理士に教えてもらう税金のこと
女性のためのキャリアカウンセリング
働く女性のための栄養管理
他

mamimu 活動内容

いくじしごと大学校 - 部活動 -

未経験からフリーランスにもなれる時代。
お互いに学び合って、自分らしく働くスキルを身につけます。

※平成 28 年度 杉並区地域貢献事業 助成活動に採択されました



- プロチームのメンバーを「部長」に、プロを目指すメンバーに対してスキルシェアを実施。
- 部員同士が気軽に教え合ったり、育児中でも勉強がしやすい環境づくり。
- 各部員が、実務レベルまでスキルアップすることが目標。
- 部活動でシェアされる情報は、ウェブサイト『mamimu journal』を通して発信。

< 部活動の例 >

DTP デザイン部

Web デザイン部

ライティング部

クラウドソーシング部

mamimu journal 編集部

など

行動指針・団体訓

私たちは、行動指針を定め、何かに依存することなく自分自身の意志で「働く」をつくっていきます。

「ひとりひとり、自ら動く」

自ら考え、機会をつくり、実行し、発信する。それが自らを変え、環境を変え、社会を変える。
「自ら」、おまじないのように唱えよう。

「異なることを、支え合う」

社会は、異なる個人の集まり。ママたちも、異なるママの集まり。「異なる」ということを受け入れよう（異なる意見を受け入れられなくても）。

「くっついたり、はなれたり」

ママ同士で働くには柔軟さが不可欠。家族の状況や仕事の内容によって、手伝ったりチームを組んだり。いろんな化学反応を楽しもう。

マネジメントメンバー



森脇 碌

代表・グラフィックデザイナー

4歳と2歳の育児中。出産後に退職し、クラウドソーシングを活用し、グラフィックデザイナーに転身。いまではクラウドを飛び出し、リアルなつながりでの仕事も。自身の経験を元にママの働き方を考えます。



中野 汐里

副代表・翻訳家

出産を機に翻訳家の道へ。1歳の娘との日々を過ごしながら、クラウドソーシングを活用して、翻訳業を在宅ワーク。若いママたちのメンターになれるよう、日々精進しています。



橋本 紗織

企画リーダー・デザイナー

3歳女兒と1歳男児の母。いくつかの事業立ち上げに参画のち、出産を機に退職。フリーランスとして、ディレクションやデザインなどの仕事を始めました。ゼロベースからどこまで仕事を生み出せるか奮闘中です。



廣畑 七絵

mamimu journal 編集長・ライター

4歳の息子を持つ、フリーライター。国際協力の仕事を経て、現在は杉並区と、故郷の高知を中心に活動をしています。育児に介護に街づくりに、当事者を強みに取材していきます！

プロメンバー 11名 (マネジメントメンバーを含む)
ベースメンバー 9名
サポートパートナー 2社・2団体
※2016年6月現在

サポートパートナー

mamimu の活動を支援してくださる方々

- 株式会社日栄不動産
- 未来投資型カフェ インザラフ（場所の提供）
- 株式会社ファーストウォーク（託児の提供・アドバイスなど）
- ベビーシッターを考える会（講座の提供など）
- Mieruca（チーム形成支援）
- 杉並区・長寿応援ファンド助成活動
- 杉並区・協働プラザ

mamimu は、支援をしていただくだけでなく、
互いにサポートしあえる関係を築いていけるよう努力していきます。



講演・メディア掲載実績

メディア掲載実績

- ・日経キャリアマガジン 資格・スキルランキング 2016
- ・日経新聞 2016年5月18日
- ・日経デザイン 2016年6月号
- ・Ekisumer 2015年冬号
- ・クラウドワークスビジネスレポート 2014年10月発行

講演実績

- ・日本テレワーク協会勉強会パネラー出席
- ・クラウドワークス社内イベント講演
- ・クラウドワークス主催 未来開拓型カンファレンス「CrowdWorks Adventure」ゲストスピーカー
- ・NPO コモンズファーム「家で働くという選択」



森脇 碌

代表・グラフィックデザイナー

1982年生。mamimu代表。
コンサルティング、建築業界で勤めるが、出産を機に在宅でできるグラフィックデザイナーに転身。クラウドソーシングを利用して、実績を積み、独学でデザインを学ぶ。
事業に入り込んでデザインをする事業参画型デザインを、リーズナブルな価格で個人・団体・中小企業に提供する第10企画、デザイナー。

子どもを産んでも、あたりまえのように仕事を続けていける。
そう思っていました。いざ出産すると、それまでと同じような働き方というわけにはいきませんでした。
もがいてもがいて、自分がつらい。なによりも、家族に、子どもに我慢させてしまう。
家族への愛情も、仕事への信念も、どちらもわたしにとってかけがえのないものなのに。

そんなとき、長男が、「将来歩けなくなるかもしれない」と診断されました。
子どもと一緒に、家族と一緒に、未来の働き方をつくっていきたい。
長男に背中を押され、わたしは退職して、在宅ワークをすることに決めました。

そうして、グラフィックデザイナーとして在宅で仕事をスタート。
しごとが軌道に乗るまでは、完全に必死にやり続ける日々。
情報交換できる存在や、メンターがいればどれだけ良いか、と思いました。

そして何とか、仕事と生活のコントロールはできるようになりました。
でも今度は「ひとり」の限界を感じるようになりました。
「子どもの急な発熱で、誰か手伝ってほしい」「もっと大きなプロジェクトにも取り組みたい」。
さらに未来につながる働き方をするためには、「学び」と「挑戦」と「連携」が必要ではないか。

そう感じていたときに出会ったのが、他のママたちです。
ママたちで仕事をシェアすることができれば……。
2人、3人で1人分。だけど、できあがる仕事は1人前以上。
そんなチームをつくることができれば、育児中の働き方を大きく変えられる。

そんなアイデアから始めたのが、フリーランスや在宅ワークで働くママたちを中心に、子どもを育てながら働くことを支え合う場づくり、mamimuの活動です。
事業や組織にしばられずに、柔軟につながる。
ひとりひとりが自分の仕事を中心にして、主体的に動く。
働くママたちだからこそできる、しなやかな団体を目指して、そこで起こる化学反応にわくわくしている毎日です。

mamimu

名称：mamimu（マミム）

代表：森脇 碌（モリワキロク）

会員数：20名※2016年6月現在

活動地域：主に東京杉並区を中心に活動

web サイト：www.mamimuworks.org

www.mamimu-journal.com（準備中）

メールアドレス：info@mamimuworks.org